

令和7年度第2回 幸田町地域公共交通会議資料

今後の検討方針および スケジュールについて

令和7年11月28日

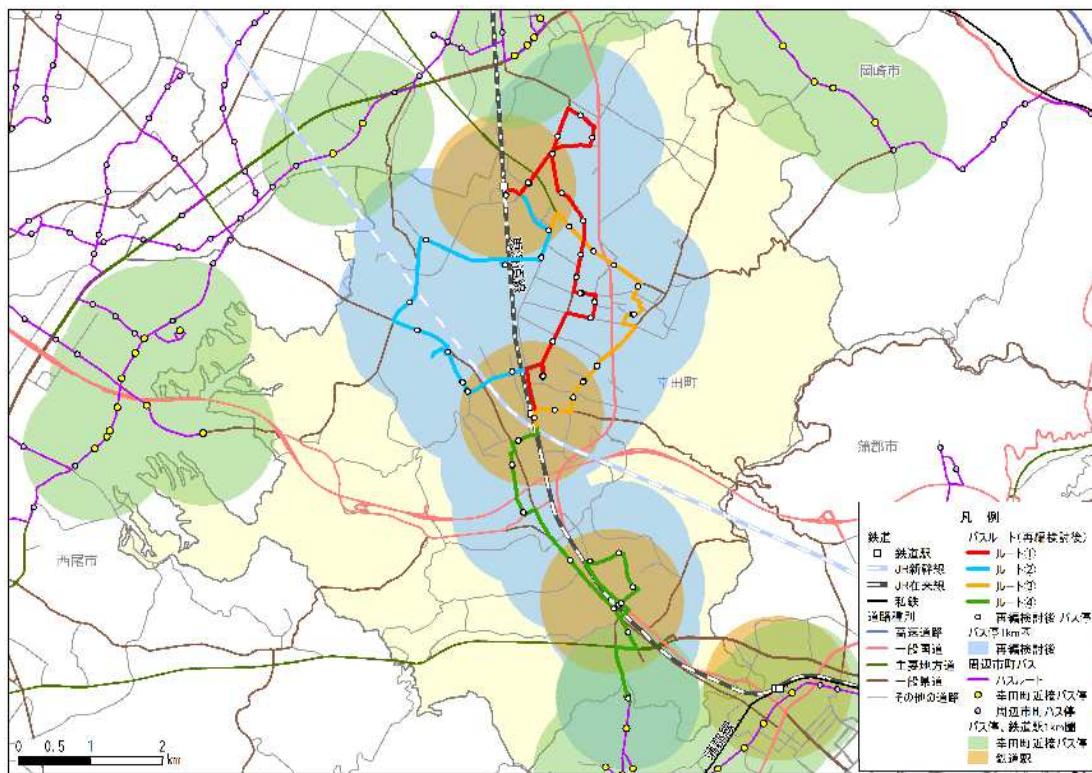
目次

- 1.えこたんバスのルート再編を踏まえた今後の予定 2
- 2.今後のスケジュール(案) 3

1.えこたんバスのルート再編を踏まえた今後の予定

- えこたんバスルートの再編に伴い、運行範囲が縮小するため交通不便地域が新たに生じる
- 交通不便地域をカバーするため、チョイソコこうたで対応を検討

■バスルート再編後の交通不便地域※



※交通不便地域:半径1km以内にバスの停留所、鉄軌道駅が存在しない集落

(出典:地域公共交通確保維持改善補助金交付要綱)

		R2	R12	R22
不便地域	0~14歳	256	180	207
	15~64歳	1,004	954	856
	65歳以上	650	595	563
	総数	1,917	1,726	1,624
カバー圏	0~14歳	6,774	5,837	5,496
	15~64歳	25,311	24,688	23,350
	65歳以上	8,655	9,396	11,316
	総数	40,994	39,921	40,164

■バスルート再編後の対応方針(案)

- ▶バスルート再編後、カバーできなくなるエリアについては、チョイソコの運行範囲拡大での対応を検討
- ▶運行範囲拡大に伴い、運行車両を現状の1台から新たに車両を購入(1台→3台)
- ▶サービス水準の維持と町の財政負担の両立を目指し、補助金を申請しつつ、運行形態の変更(タクシー業者に委託し、有償化)を検討

■再編前後の比較

系統	再編前		再編後
	運行主体	利用者	
えこたんバス	幸田町	だれでも	幸田町
	4ルート (1日辺り6便運行) ※うち第6便是スクールバスを兼ねる		4ルート (1日あたり12便※) ※うち最終便是スクールバスを兼ねる
	無料		無料
	運行主体	幸田町	公共交通会議
チョイソコこうた	豊坂小学校区、深溝小学校区に在住の65歳以上または障害者手帳を持つ人(要会員登録)	だれでも	だれでも
	1台	3台	3台
	運行範囲	豊坂・深溝地区	幸田町全域
	運賃	無料	有料 ※検討中

2.今後のスケジュール（案）

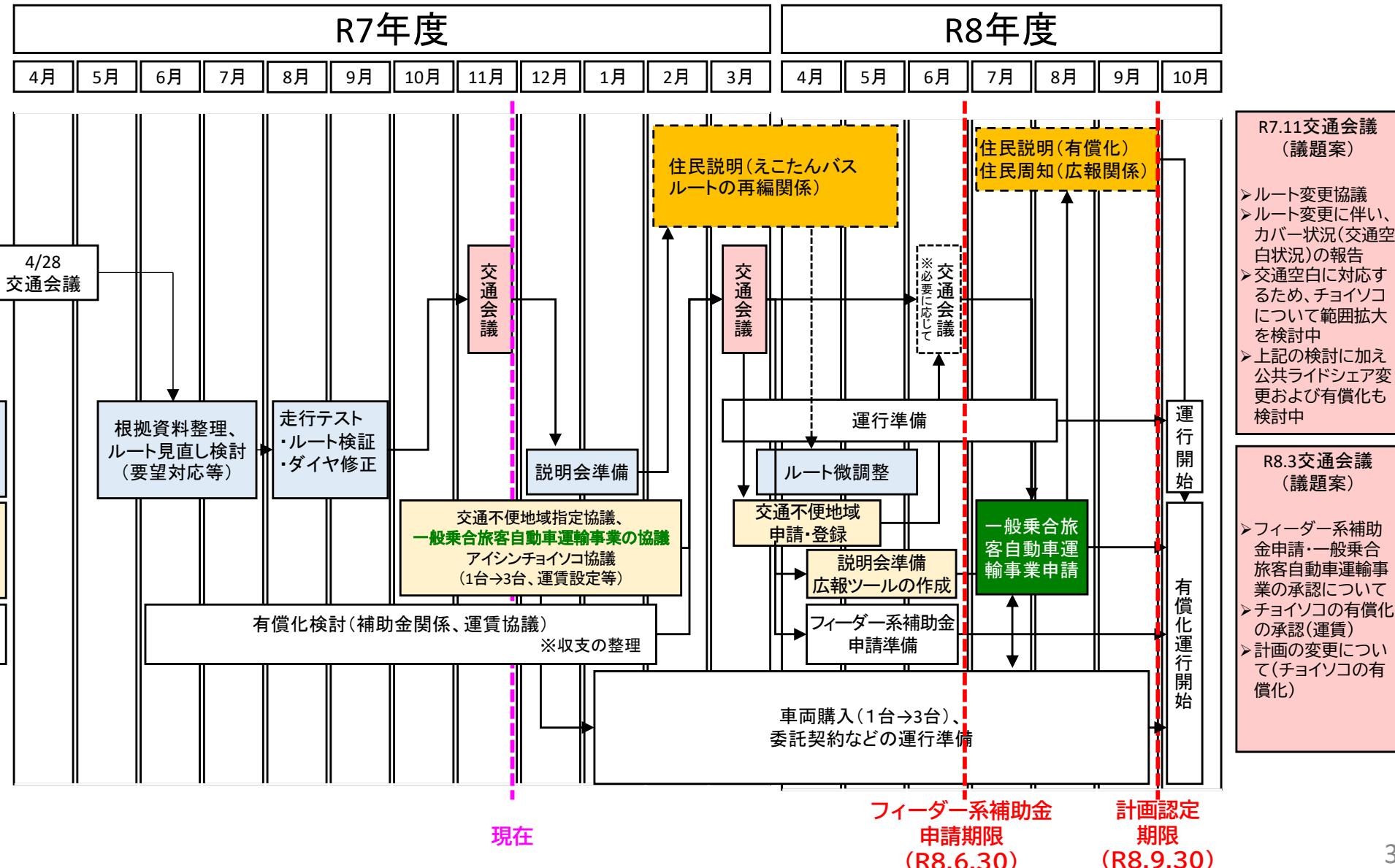
前提条件

- えこたんバスのルート再編し、R8年10月から運用
- 再編に伴い、R8年10月からチョイソコこうたの運行範囲を拡大し、有償化。また、フィーダー系補助、車両購入補助を申請する予定

位置付け	系統	役割
広域幹線		幸田町と他地域を結ぶ広域交通軸
地域内幹線	JR東海道本線	幸田町内の居住地域や主要施設等を結ぶ地域内の基幹交通軸
支線	えこたんバス	幸田町内の居住地域と鉄道駅や主要施設等を結ぶフィーダー交通
	デマンド型乗合交通（チョイソコこうた）	えこたんバスを補完する交通
専用軸	藤田莫合直行タクシー	幸田町と町外の総合病院を結ぶ専用交通軸

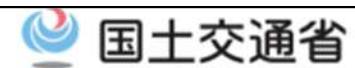
R8.10～
ルート再編

R8.10～
有償化予定



(参考) 地域内フィーダー系統補助

地域公共交通確保維持事業 陸上交通:地域内フィーダー系統補助



地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、幹線バス等の地域間交通ネットワークと密接な地域内のバス交通・デマンド交通の運行について支援。

補助内容

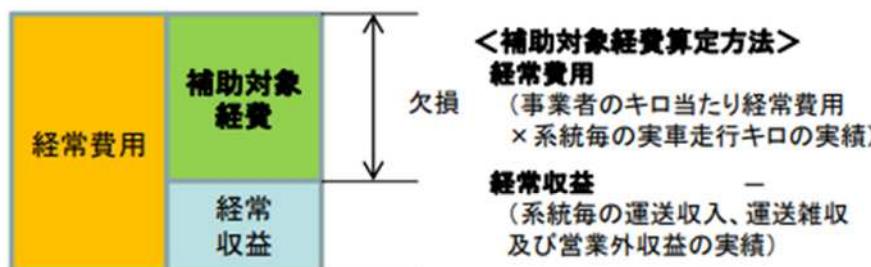
○ 補助対象事業者

地域公共交通活性化再生法に基づく協議会

※ 令和6年度まではバス事業者も対象

○ 補助対象経費

補助対象系統に係る経常費用から経常収益を控除した額



○ 補助率

1/2

○ 主な補助要件

都道府県または市町村が定めた地域公共交通計画に確保又は維持が必要として掲載され、

・一般乗合旅客自動車運送事業者、一般乗用旅客自動車運送事業者(※)、自家用有償旅客運送者による運行であること

(※)過去に乗合バス事業等による乗合旅客の運送を行っていた地域であって、乗用タクシー以外の輸送手段が無いと地方運輸局長が認めた地域に限る。

・補助対象地域間幹線バス系統を補完することであること又は過疎地域等の交通不便地域の移動確保を目的とするものであること

・補助対象地域間幹線バス系統等へのアクセス機能を有するものであること

・新たに運行を開始するもの又は公的支援を受けるものであること

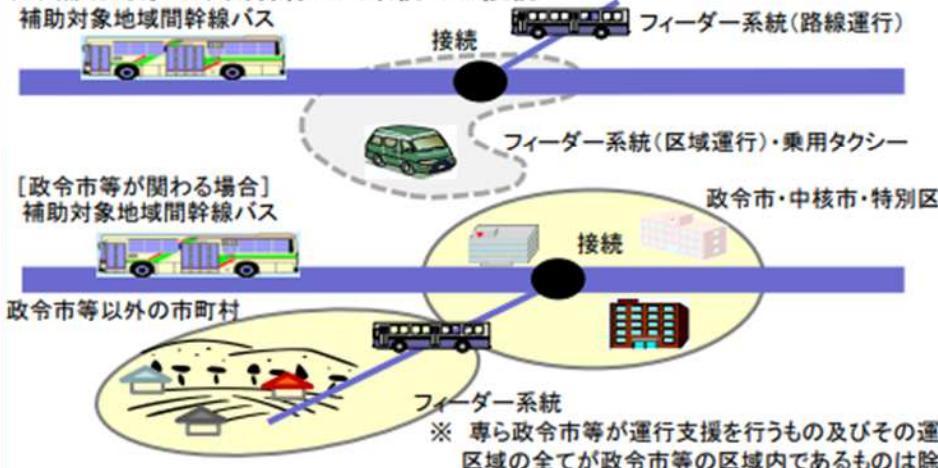
・乗車人員が2人／1回以上であること

(路線不定期運行、区域運行及び乗用タクシーによる運行を除く。)

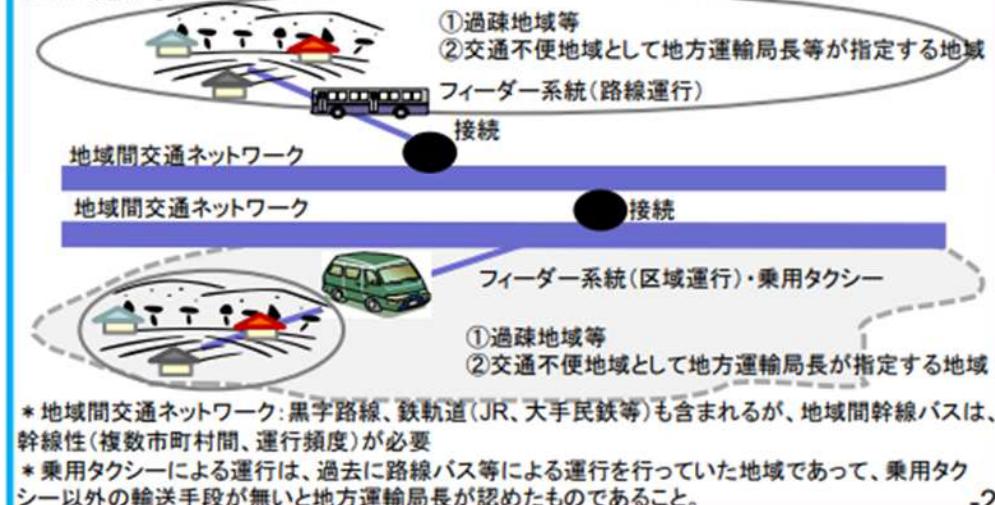
・経常赤字であること

補助対象系統のイメージ

(1) 補助対象地域間幹線バス系統への接続



(2) 交通不便地域



(参考) 安城市の路線バス・コミュニティーバスの状況

表 安城市内及び近隣市町バスのサービス水準

	路線名	運行本数	始発	終着	料金
名鉄バス	安城線 (JR安城駅～名鉄新安城駅)	1	6:35	6:47	対距離制
	安城線 (名鉄新安城駅～安城更生病院)	60	6:38	21:41	対距離制
	安城線 (名鉄新安城駅～デンパーク)	12	10:06	16:39	対距離制
	岡崎・安城線 (名鉄東岡崎駅～JR安城駅)	25	6:50	19:10	対距離制
あんくるバス	循環線 右まわり	14	6:00	19:45	
	循環線 左まわり	14	6:30	20:05	
	安祥線	7	7:17	18:49	
	桜井線	12	7:15	17:50	
	南部線	12	7:05	18:09	
	高棚線	14	7:00	19:00	1乗車100円
	東部線	14	6:54	18:40	
	西部線	7	7:32	18:57	
	作野線	7	7:00	18:40	
	北部線	13	7:15	18:44	
	桜井西線	12	7:15	17:59	
（ミニ立バス）	1コース（グリーンコース）	9	6:30	20:20	
	2コース（パープルコース）	9	6:55	19:55	
	3コース（オレンジコース）	11	6:45	19:53	1乗車100円
	4コース（ブルーコース）	10	6:35	19:53	
	5コース（イエローコース）	11	6:30	20:19	
（刈谷市）	東境線	8	6:12	20:14	
	西境線	8	6:25	20:23	
	一ツ木線	5	6:20	20:31	
	運動公園・東刈谷線	8	6:35	20:26	
	小垣江・衣佐美線	8	7:10	20:29	
	東刈谷・逢妻線	5	6:50	20:20	
（いき浜いき号）	吉浜コース	6	7:30	16:54	
	高取コース	6	7:30	16:51	
	港コース	6	8:23	17:37	1乗車100円
	翼コース	6	8:20	17:37	
	刈谷市コース	9	8:07	17:47	
（碧南バスくる）	オレンジコース	8	7:00	18:18	
	パープルコース	4	7:00	18:14	
	みどりコース	5	6:45	18:23	
	あおコース	5	7:00	18:31	

(資料：各市町ホームページ 2022年7月現在)

表 あんくるタクシーのサービス水準

運賃	100円（あんくるバス乗継券有）／定期1ヶ月1000円
運行時間帯	9～16時台
車両	乗車定員4名×2台
予約方法	電話
予約受付時間	7～21時 ※前日から予約締切時間まで

(資料：安城市資料 2022年10月現在)

表 停留所数

	停留所数	接続あんくるバス停	運行本数
小川地区	4	【桜井線】 桜井駅	往：4本／復：3本
里・橋目地区	8	【北部線】 北部福祉センター ピアゴ東栄店	往：7本／復：5本
		【東部線】 北部福祉センター	往：4本／復：4本
		【高棚線】 西部福祉センター 箕輪町内会	三河安城駅・安城更生病院方面 【高棚町地区】往：4本／復：4本 【箕輪町地区】往：4本／復：4本 高棚町内会方面 【高棚町地区】往：4本／復：3本 【箕輪町地区】往：4本／復：3本
高棚・箕輪地区	8		

(資料：安城市資料 2022年10月現在)

③ 利用者一人当たりの市負担額

	(2021年度)
あんくるバス	循環線（右まわり）
	266円／人
	循環線（左まわり）
	281円／人
	安祥線
	1,054円／人
	桜井線
	1,212円／人
	南部線
	1,302円／人
あんくるタクシー	高棚線
	957円／人
	東部線
	1,177円／人
	西部線
	458円／人
	作野線
	470円／人
	北部線
	996円／人
安城市資料	桜井西線
	778円／人
	甲・橋目地区
・毎年	4,678円／人
	高棚・箕輪地区
	3,638円／人
	小川地区
	3,750円／人

実負担額
(2024年度実績)

あんくるバス：
275,964千円

あんくるタクシー：
1,364千円

(参考) 西尾市の路線バス・コミュニティーバスの状況

市内の路線バスとしては、名鉄東部交通バスが2路線（岡崎・西尾線、一色線）、名鉄三河線碧南駅から吉良吉田駅間の鉄道廃止に伴う代替交通として当該区間一部吉良高校までを結ぶ「ふれんどバス」があり、西尾市コミュニティバスとして西尾地区で「六万石くるりんバス」を運行しています。

令和7年3月までは一色地区にはコミュニティバスとしていっちゃんバスが運行していましたが、現在は廃線となっています。

■バス路線の状況



■路線別利用状況（令和2年度）

	利用者数	1便あたり 利用者数	利用者数上位 3 停留所 (西尾駅、市民病院除く)
①市街地線	19,509	4.5	歴史公園西、鶴城小南、桜町前駅西
①三和線	8,996	3.1	つくしが丘、岡崎中島、平原
②室場線	6,426	2.2	つくしが丘、平原、市役所
③平坂中畑線	54,246	11.5	御城下、平坂港前、田貫
④寺津矢田線	55,948	11.9	御城下、富山北、富山
⑤米津線	4,703	2.2	米津駅、米津ふれあいセンター東、宮浦
⑥西野町線	4,291	1.2	御城下、碧南篠塚、西尾口駅
⑦福地線	7,565	3.0	行用、今川西、鵜ヶ池北
合計	161,684		

資料:西尾市

■運行費用

運行経費は、利用者からの運賃のほか、国、県、沿線市町の負担金や補助金で算入されています。西尾市の負担額は、鉄道が年間約1億5千万円（西尾市、蒲郡市が各々に対して合わせて年間2億5千万円の支援金を負担）、バスが年間約2億9千万円、合わせて年間約4億4千万円です。市民1人あたり、年間約2,600円を負担していることになります。

バスの支戻額は各路線とも増加傾向にあり、六万石くるりんバスは令和2年度に3路線から8路線に拡大したため増加しています。

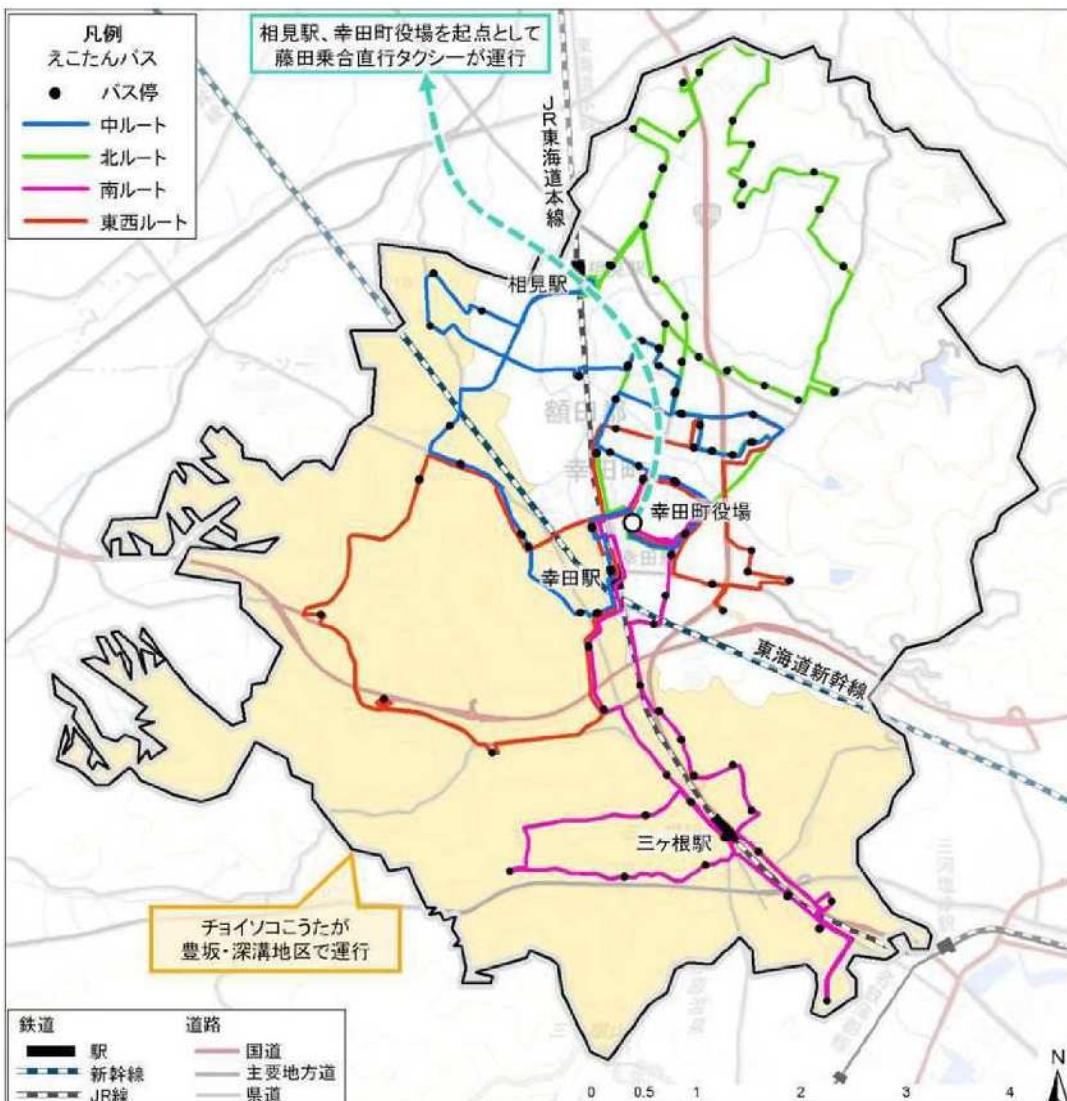
実負担額 (2024年度実績)

六万石くるりんバス:
165,175千円

■公共交通の市支出金額（単位：千円）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
名鉄西尾・蒲郡線（市支援額）	150,687	150,687	150,687
名鉄東部交通バス（市補助金）	28,789	27,314	36,600
ふれんどバス（市補助金）	38,145	46,648	50,914
六万石くるりんバス（市負担額）	47,748	49,959	178,768
いっちゃんバス（市負担額）	18,081	19,063	21,399
いこまいかー（市負担額）	1,166	1,996	2,249
合計	284,616	295,667	440,617

(参考) 幸田町の路線バス・コミュニティーバスの状況



資料:幸田町 HP(えこたんバス)

国土交通省 國土数値情報(鉄道データ、行政区域) (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>)、地理院タイルを加工して作成

図 町の公共交通網

■成果指標

	現況値	目標値	取得・算出方法
公共交通の満足度	7.8% ^{※1}	10% ^{※2}	住民意識調査より算出
公共交通の利用者数	<ul style="list-style-type: none"> ■えこたんバス^{※3} ・北ルート : 9,908 人/年 ・中ルート : 9,221 人/年 ・東西ルート : 8,988 人/年 ・南ルート : 8,410 人/年 ■チョイソコこうた : 3,481 人/年 ■藤田乗合直行タクシー : 973 人/年 	※有料化後に設定 町所有データより算出	

※1…「公共交通の整備」に対して「満足」と回答した人の割合を計上

※2…平成31年度～令和5年度の増加トレンドを、令和9年度まで引き延ばした数値(9.7% + 10%)を参考に目標値を設定。

※3…スクールバス利用も含む。

■確認項目

	現況値	取得・算出方法
3駅のバス便数	幸田駅: 18便/日 三ヶ根駅: 18便/日 相見駅: 12便/日	
運行に伴う行政負担額	5,440万円/年 ^{※4}	
収支率	※有料化後に算出	町所有データより算出
利用者一人当たりの費用	えこたんバス : 794円/人 チョイソコこうた : 4,510円/人 藤田乗合直行タクシー : 9,970円/人	

実負担額 (2024年度実績)

えこたんバス:
30,639千円

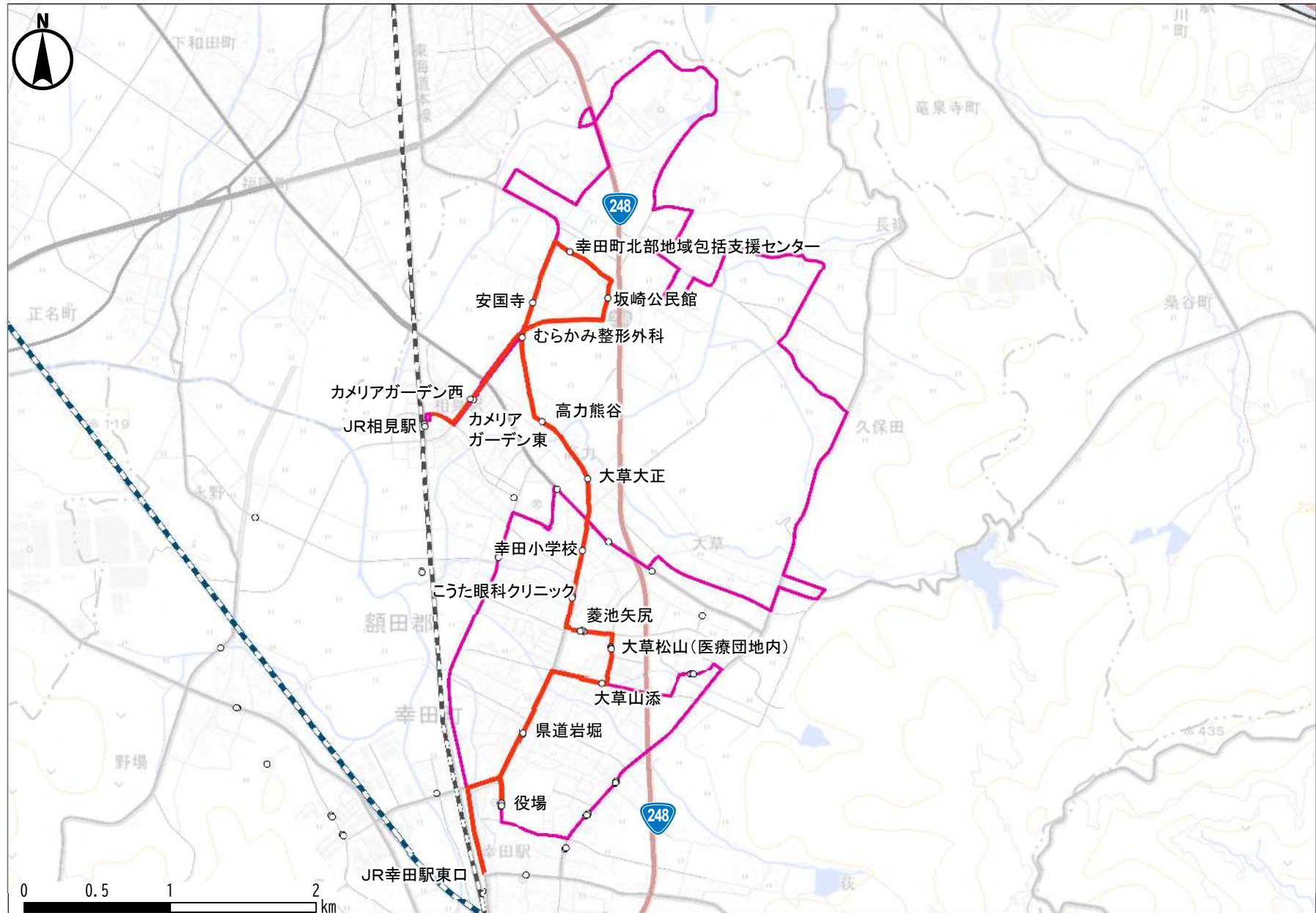
チョイソコこうた:
15,267千円

藤田乗合直行
タクシー:
12,635千円

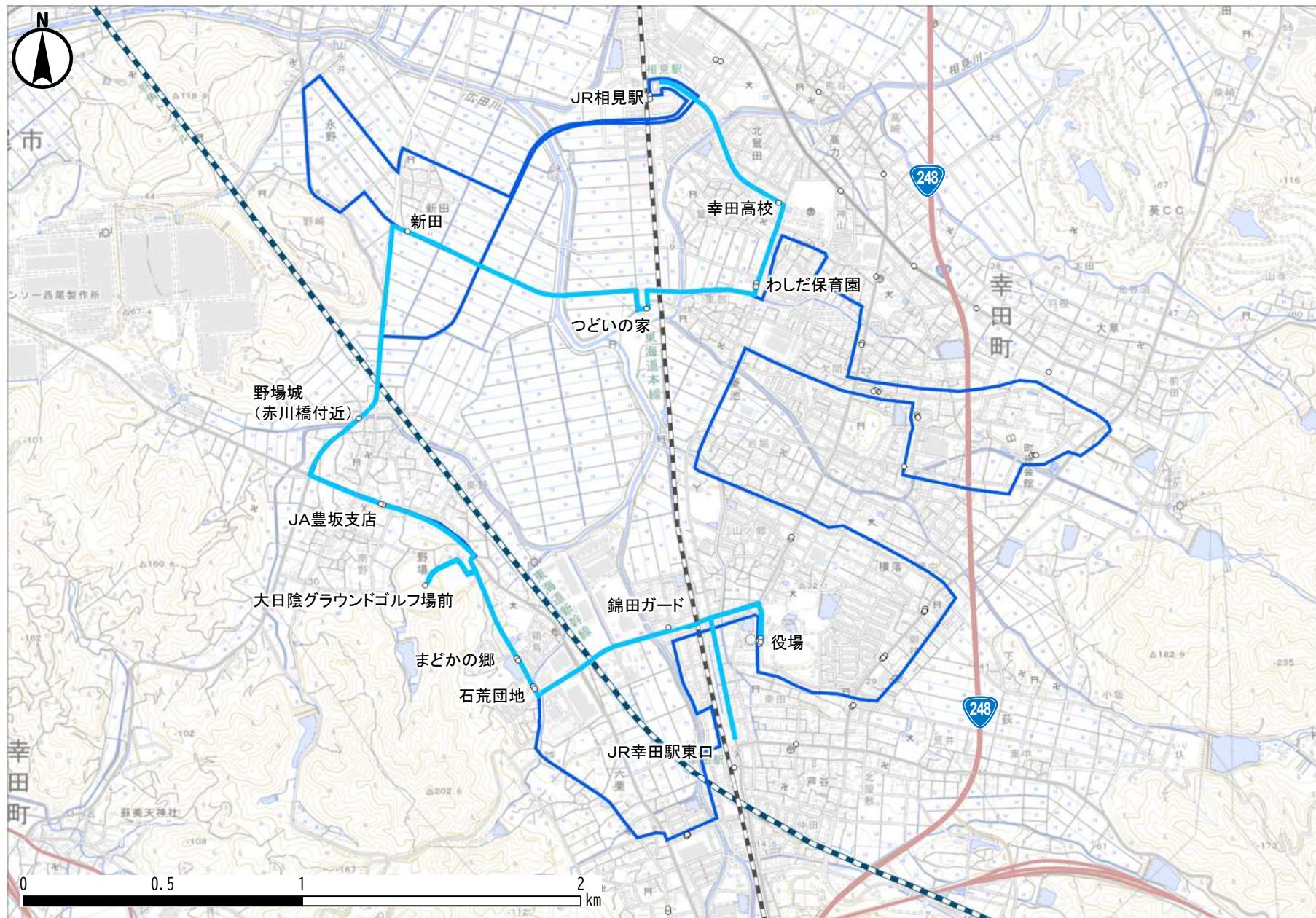
※4…令和4年度の運行に伴う行政負担額の公共交通との内訳より、えこたんバス: 2,900万円/年、

チョイソコこうた: 1,570万円/年、藤田乗合直行タクシー: 970万円/年

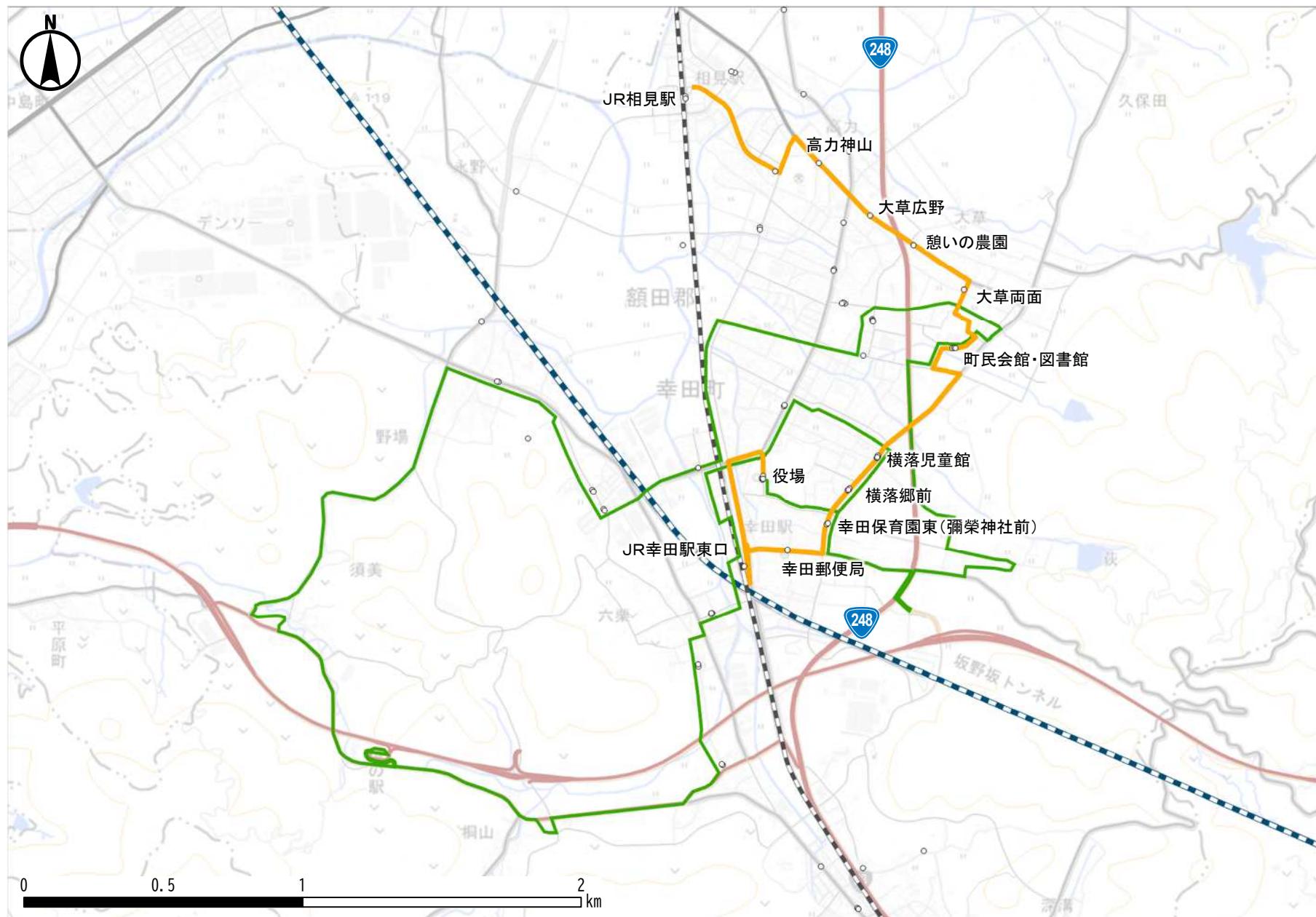
(参考) 再編検討後のルート①



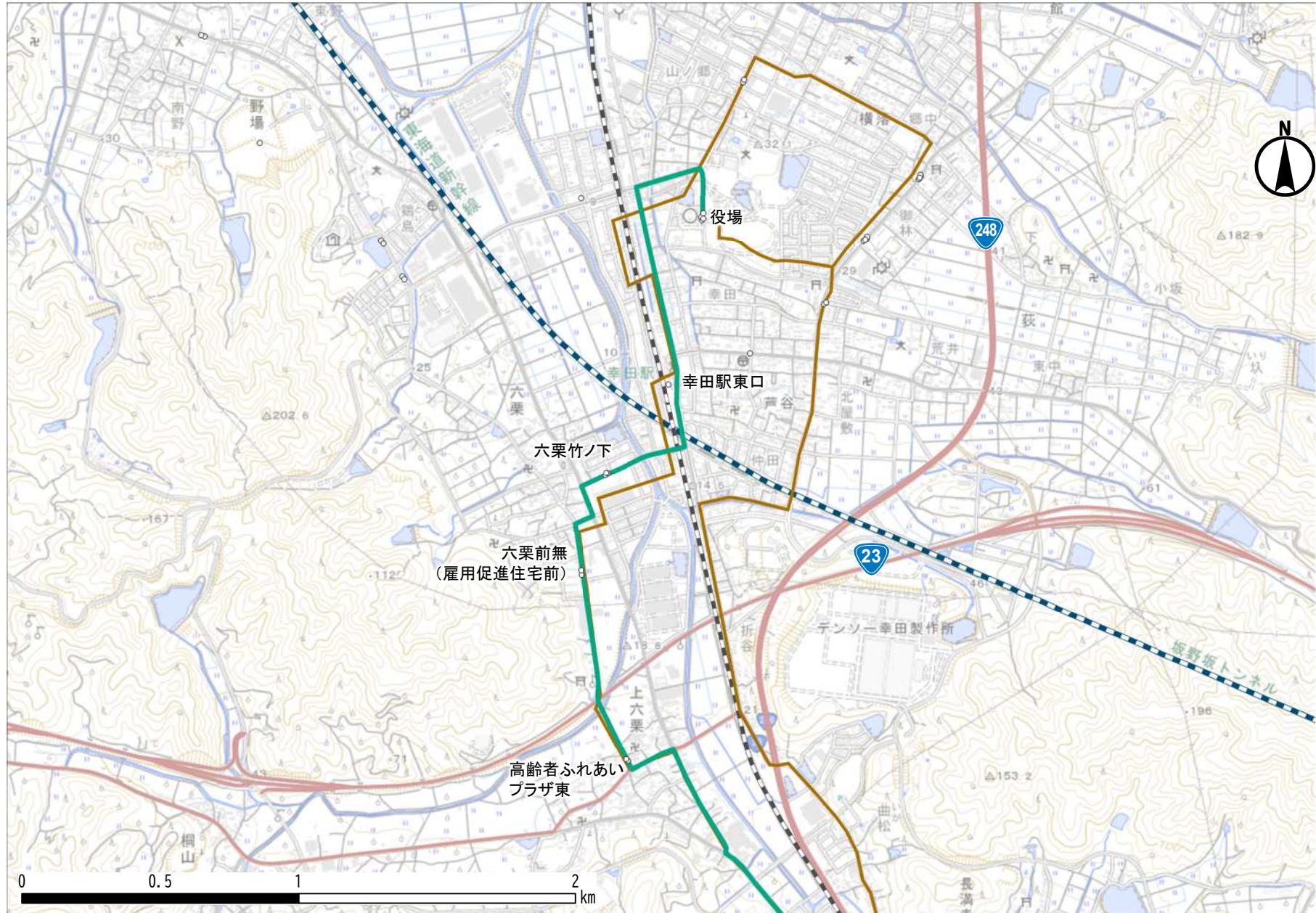
(参考) 再編検討後のルート②



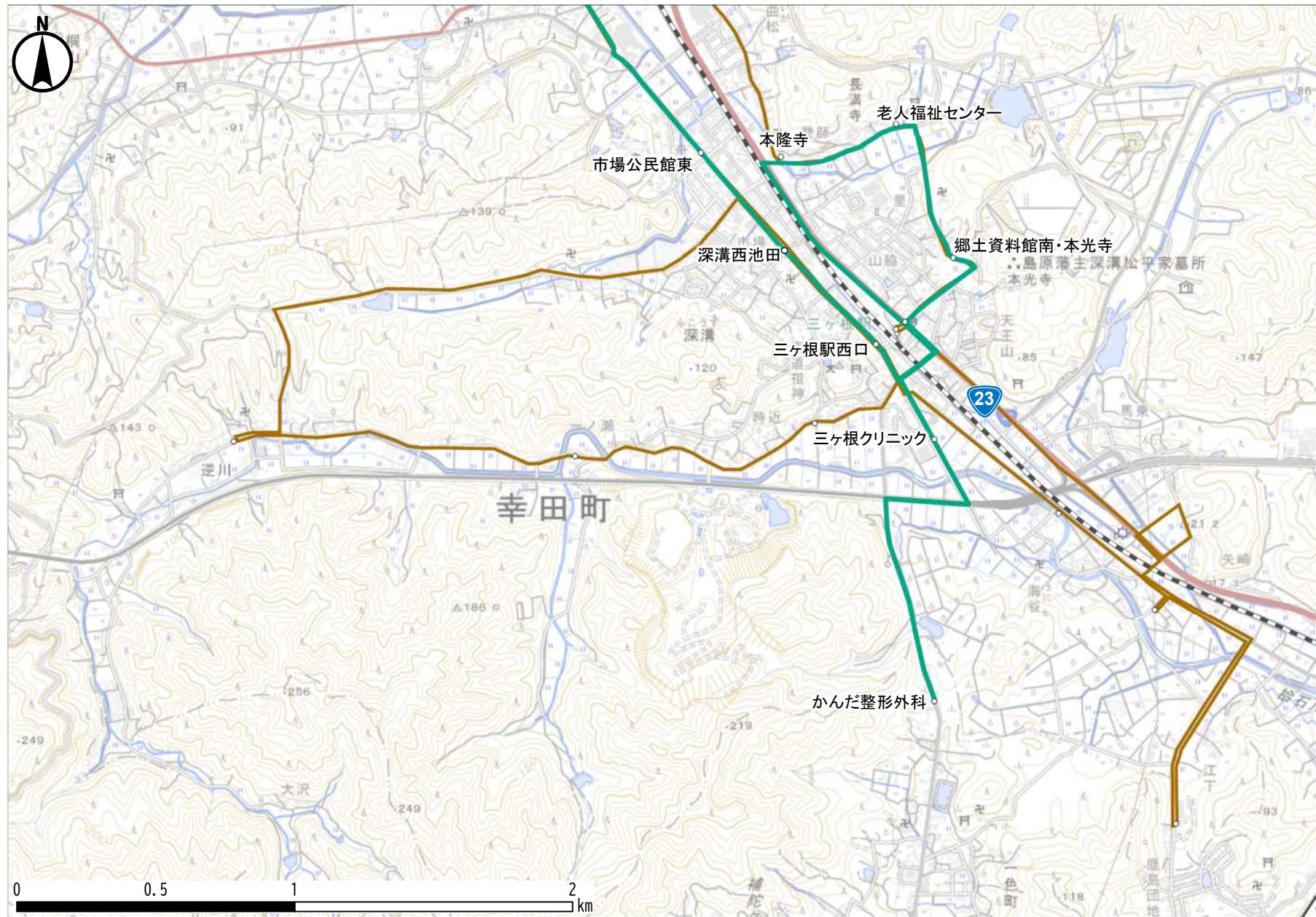
(参考) 再編検討後のルート③



(参考) 再編検討後のルート④



(参考) 再編検討後のルート④



事業概要【市民の暮らしを支え、交流を促し活気を創出する新たな公共交通モードの実現】

申請者	愛知県刈谷市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	190,961千円 (142,472千円)
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 市公共バス「かりまる」の再編とデマンド交通「チョイソコかりや」の運行により、交通空白の解消と利便性の高い公共交通ネットワークの形成を図る。 キャッシュレス決済機能の導入や、AIを活用した配車システムの活用により、交通DXの取組を推進する。 							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○デマンド交通「チョイソコ」実証実験 ・デマンド交通運行負担金（負担金）20,817千円 ○市公共バス「かりまる」再編事業 ・乗継拠点等の整備（工事請負費）78,056千円 ○市公共バス「かりまる」キャッシュレス化 ・キャッシュレス端末購入費（備品購入費）24,581千円 ・システム開発・保守管理委託（業務委託料）9,460千円 ・システム利用料（使用料）1,205千円 ○公共交通の利用促進 ・利用促進動画の作成等 8,353千円 							
地域の多様な主体の参画	<p>バス運行事業者や市内企業の協力を得て市バス及びデマンド交通の運営を行うとともに、本市公共交通全体の取組の共創・連携を推進する。また、学識経験者や地区、高齢者・障害者支援団体等の方々に都市交通協議会や意見交換会等に参画いただき、共に創り支え合う利便性・快適性の高い持続可能な公共交通体系の実現を図る。</p>						<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> <p>①地域の人口・世帯数 (+200人) ②公共交通全体の年間利用者数 (+2,467千人) ③チョイソコかりやの会員登録者数 (+500人) ④キャッシュレス決済の利用割合 (+20%) ⑤公共交通の利用を促進するイベント等開催回数 (+0回)</p>	



■チョイソコかりや



■公共交通連絡バス「かりまる」